

実務経験のある教員

所属学科	職名	担当教員	科目名	内容	単位数
子ども教育学科	教授	遊佐 重樹	英語 I (子ども教育)	この科目は一般企業での海外駐在等の実務経験のある教員による英語の授業です。子ども教育学科で開講される「英語 I」の初級レベルです。大学生として身につけておくべき基本単語を覚える。アクティブ・ラーニングとICTの活用を通して、英語のネイティブスピーカーの自然な発音方法を習得できるよう発音練習を行う。さらに基本的な文法事項を確認しながら英文文法を。反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う)の形式で行う。	1
子ども教育学科	教授	遊佐 重樹	英語 II (子ども教育)	この科目は、一般企業での海外駐在等の実務経験のある教員による英語の授業です。人間発達学科で開講される「英語 II」の初級レベルです。大学生として身につけておくべき基本単語を覚える。英語のネイティブスピーカーの自然な発音方法を習得するために繰り返し発音練習を行う。さらに基本的な文法事項を確認しながら作文する。	1
子ども教育学科	教授	遊佐 重樹	English Pronunciation	この科目は、一般企業での海外駐在等の実務経験のある教員による英語の授業です。マルチメディア教材を活用して、IPA(国際音声記号)を使いながら英語の音声の仕組みを習得し、日本語に存在しない英語の音を徹底的に身につけ、それらを正確に聴き取る力を養う。さらに、平易な会話文・スピーチ文を使って、発音練習を行う。	2
心理福祉学科	准教授	茂木 千明	コミュニケーション論	コミュニケーションの基礎として、コミュニケーションの基本(話す・書く・みる・感じる)を通じて、自己理解と他者理解の重要性を学び、具体的な対人関係場面について考える。人間関係の形成として、自己と他者という個人的関係から様々な人間関係の広がり(家族、友人、学校、職場など)について学び、その関係の中での集団のダイナミクスについて考える。本科目は、公認心理師・臨床心理士としての実務経験のある教員による授業である。	2
グローバル・スタディーズ学科	准教授	熊谷 健二	情報処理概論	キーボード・マウス操作、日本語入力(タイピング)からはじめて、ワープロソフトや表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの基本操作を学ぶ。また、WWWや電子メールを中心としたインターネットの活用方法やモラルとマナーなどについても学習する。授業では基本操作をマスターした後に、さらに身につけた操作を自分で主体的に活用するなど深い学びへとつなげる(アクティブラーニング)。この科目は一般企業で研究開発の実務経験がある教員による授業である。	2
グローバル・スタディーズ学科	准教授	熊谷 健二	情報処理 II	表計算ソフトExcelにはさまざまな便利な関数が用意されており、これらを利用することにより集計・検索・分析などの作業が効率よくできるようになる。また、一連の処理内容をプログラムの形にまとめるマクロ機能もあり、複数の処理を自動的に実行させることも可能である。本授業ではこのようなExcelのより高度な使い方をマスターし、さらに身につけた操作を自分で主体的に活用するなど深い学びへとつなげる(アクティブラーニング)。小テストやアンケート、課題提出にはUNIPAを利用する。この科目は一般企業で研究開発の実務経験がある教員による授業である。	2
計					10

非常勤講師	佐藤 敬広	健康とスポーツA	誰もが健康で長生きすることは共通の願いである。生活の質は、たとえ身体に障がいや病気があっても日常生活の中で前向きに自己の心身の有用性を感じることで向上する。本授業では、各種アダプテッド・スポーツを実践するなかで、身体機能を補う用具を工夫することで、誰でも参加可能なスポーツがあることを体験的に学ぶことを目指す。この科目を受講することで年齢や性別、障がいの有無をこえて健康の維持・増進に向けて、健康づくりへの助言ができることを目指す。なお、本授業は障がい者スポーツ指導者の実務経験のある教員による授業である。	1	
非常勤講師	佐藤 敬広	健康とスポーツB	誰もが健康で長生きすることは共通の願いである。生活の質は、たとえ身体に障がいや病気があっても日常生活の中で前向きに自己の心身の有用性を感じることで向上する。本授業では、各種アダプテッド・スポーツを実践するなかで、身体機能を補う用具を工夫することで、誰でも参加可能なスポーツがあることを体験的に学ぶことを目指す。この科目を受講することで年齢や性別、障がいの有無をこえて健康の維持・増進に向けて、健康づくりへの助言ができることを目指す。なお、本授業は障がい者スポーツ指導者の実務経験のある教員による授業である。	1	
非常勤講師	西井 園枝	スペイン語 I A	通訳の実務経験があり、現在映像翻訳者としての実務を行う教員による授業。テキストプリントと練習問題のプリントを使用して授業を行う。小テストも随時行い、宿題も適宜出す。課題に取り組み、試験範囲として指定した内容を自習することが復習となり力になる。授業時には覚えた表現を使ってのスペイン語での会話もできる限り行い、学生同士のペアワーク、グループワークなどのアクティブ・ラーニングも取り入れる。	1	
非常勤講師	西井 園枝	スペイン語 I B	通訳の実務経験があり、現在映像翻訳者としての実務を行う教員による授業。テキストプリントと練習問題のプリントを使用して授業を行う。小テストも随時行い、宿題も適宜出す。課題に取り組み、試験範囲として指定した内容を自習することが復習となり力になる。授業時には覚えた表現を使ってのスペイン語での会話もできる限り行い、学生同士のペアワーク、グループワークなどのアクティブ・ラーニングも取り入れる。授業時にはいろいろな映像も活用して、ネイティブスピードで話されるスペイン語を聞いたり、風景を見たり、希望があれば映画鑑賞も行いたい。食文化などにも触れ、語学学習と並行してスペイン語が話されている国々の文化(音楽、ダンス、行事、日常生活 etc)に対する興味も一層深めていきたい。	1	
非常勤講師	西井 園枝	スペイン語 II A	通訳の実務経験があり、現在映像翻訳者としての実務を行う教員による授業。指定の教科書と補助プリントを使用して授業を行う。小テストも随時行い、宿題も適宜出す。課題に取り組み、試験範囲として指定した内容を自習することが復習となり力になる。授業時には覚えた表現を使ってのスペイン語での会話もできる限り行い、学生同士のペアワーク、グループワークなどのアクティブ・ラーニングも取り入れる。	1	
非常勤講師	西井 園枝	スペイン語 II B	通訳の実務経験があり、現在映像翻訳者としての実務を行う教員による授業。指定の教科書と補助プリントを使用して授業を行う。小テストも随時行い、宿題も適宜出す。課題に取り組み、試験範囲として指定した内容を自習することが復習となり力になる。授業時には覚えた表現を使ってのスペイン語での会話もできる限り行い、学生同士のペアワーク、グループワークなどのアクティブ・ラーニングも取り入れる。	1	
計					6

合計 16